



## 地下鉄短 信 (第 532 号) 令和 4 年 10 月 18 日 発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 川村廣栄

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



### 記事 ○第 29 回鉄道フェスティバルに出展しました。

### ○第 29 回鉄道フェスティバルに出展しました。



今年は明治 5 年(1872 年)10 月 14 日に新橋・横浜間に日本で最初の鉄道が開業してから 150 年の節目の年となります。この開業した日を記念して、平成 6 年に「鉄道の日」が制定され、その中心行事の一つとして「鉄道フェスティバル」が行われており、今年は、10 月 8 日(土)・9 日(日)の 2 日間日比谷公園で開催されました。

本フェスティバルは、令和元年は台風 19 号により、また、同 2 年及び 3 年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、今回 4 年ぶりに開催されるものです。

### ◆秋晴れの爽やかな天候に恵まれたフェスティバル

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施されていたステージプログラムや物販・飲食類の販売等が中止となり、従前よりは規模・内容を縮小して開催されることになりました。

初日の 8 日(土)は、秋雨で相当冷え込んだ前日から一転して秋晴れの爽やかな一日となり、入場口には鉄道マニアのみならず多くの家族連れが長蛇の列をつくって開場を待っていらっしゃいました。今回は齊藤国土交通大臣や国土交通省幹部の皆様等もお迎えしてオープニングセレモニーが挙行され、テープカットとともに開場となりました。

初日の入場者数は 9,200 人で、2 日目の 9 日(日)も前日同様の秋晴れの中で 11,200 人と 2 日間で約 2 万人の方が入場されました。新型コロナ前の平成 30 年開催時は 2 日間で 15 万人の入場があったことに比べれば少なめにはなりましたが、例年楽しみにされている熱心な鉄道ファンが多いことを改めて認識し、それなりに盛大なものとなりました。



### ◆会員事業者の紹介ポスターの掲出

当協会のブースでは、協会スタッフが従前どおりのピンク色のウィンドブレーカーを着用して来場者の方々をお迎えました。従来のように会員各社局ごとに創業・誕生の経緯や現在の重点事業、また最新の車両写真やバリアフリー化の推進状況等創意工夫された内容のポスターを作成し、テントの壁一面に掲出し、熱心な鉄道ファンが多く訪れ、ポスターに見入っていました。



## ◆会員事業者の PR ポスターやチラシなどの展示・配布



上記のポスターのほか、名古屋市交通局の PR 用ポスターの展示や大阪メトロ、京都市交通局及び福岡市交通局から提供していただいたチラシなども多数展示・配布し、来場者の多くが大変興味をもたれ、持ち帰っていただきました。

## ◆リニアモーター台車の模型及び横浜市交通局提供の記念物の展示

今回は、展示中心のフェスティバルとなり、当協会の保有しているリニアモーター台車（A タイプ）の模型を初めて展示いたしました。また、横浜市交通局のご協力をいただき、昭和 47 年 12 月の地下鉄開通を記念した「記念乗車券」、「記念メダル」及び「列車運行図表」も展示し、大人だけでなく多くの子供達も興味深く眺めたり写真を撮り、専門的な質問をする子もいました。



## ◆鉄道クイズコーナーの実施



また、本フェスティバルを盛り上げるために短時間での来場者を集客したプロモーションやゲーム大会等は実施可能とされたため、当協会ブースでは、小学生以下を対象とした地下鉄を含む鉄道に関するクイズを作成し、回答してもらうことにしました。行列ができるほど多くの子供達が参加し、日頃の鉄道知識をもって挑戦してもらいましたが、展示している

ポスターの内容で確認したり、ご父兄の方と相談しながら真剣に取り組んでいました。回答者には、記念品として会員 29 社局の車両前面写真をプリントした紙製クリアファイルに、地下鉄を利用する際のマナーをイラストなどで楽しく学ぶことができるリーフレット「守って輝くみんなのマナー 電車のマナー(すごろく付)」などを併せて配布し、盛況に実施することができました。



最後に、この「第 29 回鉄道フェスティバル」の開催につきましては、会員各社局等の皆様からの多大なるご支援ご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。